

15

15 LEON RECOMMENDS

写真 / 藤田一彰
文 / 前田暎一郎(本誌)

目 たり前のように、名前というのはそれが誕生してからモノや個人を特定するためのもの。だからこそ名付けの際にはより良い名前を求めて、画数や音の響きについてあらゆる方法で占い確認するわけで、我々は名前が個人の一生すら左右すると自然に考えているわけです。ところで、「名前」とは近代になってからの言い回しで、それ以前は「名」とひとことで表したような。「名」とは「音」と語源を同じくす

るようですが、共感覚という特殊な能力をもつ人にとっては音には色があるのだとか。これはまた研究中の分野で、それが脳内でどのような理由によってもたらされているかは謎の部分が多いようですが、とすれば、名前に香りがあるのもいいのでは、というのがここでのお話。こちらの香袋は、俳句の即私具象の表現方法にちなんで言葉の表情（響き、音質など）を数値化して客観的に解析し、そこに感覚的な仕上げを施すこと

で、世界にひとつだけの名前の香りを作ってくれるというもの。香水などで“自分をイメージした香り”なんてものをご紹介したこともありましたが、日本的かつ奥ゆかしさを兼ね備えたこちらなら、女性ウケは間違いないし。LEONとしてはパートナーや気になるあの子に「君の名前の香りだよ」とサラリとちょいブレしてみることをオススメします。重すぎず、軽すぎず、知性と意外性もたっぷりかと思うのですが、いかがで

しょう。

「なまえ香」の香袋

アナタの香りを届けます



懐に入れるなり、カバンに忍ばせるなり

例えばこのように、ハンカーフに包んでカバンのなかでほのかに香らせるのがよいのかと、ちなみに調合されてから5日間ほどおくと、香りが安定しますので、懐かに置かれる際には、時間の余裕をおもちください。



さて、貴兄の香りはどんな香りでしょうか

香りの作りは名前と出生地と年齢が決められます。基本自然素材はひひ葉、ほかに「ありがとろ」や「おおきに」などの言葉を香りに仕立てた「この香」もあり。